

決定版 最強で万能のツールを使いこなす

4技能を最速で底上げ! 生成AI英語学習法

安河内哲也先生からのメッセージ

▶▶ 言語学習の仕組みそのものを抜本的に変える

私はこれまで35年以上にわたり、学生、社会人、教員、企業研修の受講者まで、あらゆる人に英語を教えてきました。1980年代から英語を学び続けてきた一学習者としても、技術の進化が語学学習をどのように変えてきたかを目の当たりにしてきました。

しかし、今私たちが直面している変化は、それまでのどの技術革新とも異なります。「生成AI」の登場です。これは単なる学習補助ツールではありません。言語学習の仕組みそのものを抜本的に変えてしまうほどのインパクトを持っています。生成AIを活用すれば学習効率は従来の何倍にもなり、生成AIを味方につければ、英語学習は“高速かつディープな”ものになり、4技能を融合させた学習にまで発展させることができるのです。これからの時代、英語学習の質とスピードは、生成AIをどこまで使いこなせるかにかかっていると言えるでしょう。

▶▶ 「人間の敵」ではなく「学習の相棒」

一部では「AIが教師の仕事を奪う」という懸念もありますが、本質は逆です。AIの論理力・知識量・生成力はすでに人間の平均を超えており、それを自分の第二の脳として使うことが、これからの英語学習の基本になります。自分が苦手な部分をAIに任せることで、学習効率は飛躍的に向上し、人間の創造性や対話力に集中できるようになります。それが、これからの英語学習のスタイルです。今こそ、AIの力を借りて、自分に最適な英語学習をスタートさせましょう。

本記事では、具体的な操作方法や実際の教育現場での活用例を踏まえながら、生成AIを最大限に生かした英語学習法をご紹介します。

【執筆】安河内 哲也（やすこうち・てつや）

東進ハイスクール英語科、東進ビジネススクールで講師を務めるほか、(財)実用英語推進機構代表理事、情報経営イノベーション専門職大学客員教授。実用英語教育（話せる英語、使える英語）の普及に尽力している。また、大手メーカーや金融機関でのグローバル化研修、教育委員会主催の教員研修事業の講師なども務める。TOEICテストの4技能全てにおいて満点を取得、国連英検特A級、英検1級、通訳案内士資格なども取得。英語関係の著書を中心に累計発行部数は500万部を超える。1967年福岡県北九州市生まれ、上智大学外国語学部英語学科卒業。



1

英語学習を根底から変える生成AI

4技能全てを底上げしてくれる、あなた専属のチューター

多くの分野に革命をもたらしている生成AIですが、最も大きな影響を受けているものの1つが言語教育です。生成AIは、リーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの4技能に加えて語彙や文法の学習までもカバーすることができます。教材用の英文の自作から問題の作成、解説、背景知識の補完まで、全てを1つのツール＝生成AIで完結できる時代が到来しました。しかもそれは、自分の目的や関心に合わせて柔軟にカスタマイズ可能です。生成AIは、あなた専属の教材編集者兼チューターになってくれるのです。

1. オールラウンドで最強の英語学習ツール

生成AIはオールラウンド・プレーヤーです。例えば以下のような、実にさまざまな使い方が可能です。

▶英文法の疑問にその場で答えてくれる

例えば、現在完了進行形の意味や使い方がわからないとき、

🔴 **現在完了進行形って何ですか。**

と質問すれば、定義と例文を使って即座に解説してくれる。

▶英会話の練習相手としてロールプレーができる

🔴 **あなたはレストランの店員、私は客。英語で注文のやりとりをしたいです。**

と伝えると、すぐに文字による、または音声による会話が始まる。

▶ライティングの添削と指導をしてくれる

例えば、英文日記を書いて、

🔴 **添削してください。理由も付けてください。**

と頼むと、間違いを直し、理由も説明してくれる。

▶自分専用の学習教材を作ってくれる

例えば、

🔴 **日本の高校2年生レベルで、サッカーをテーマにしたリーディング教材を200ワードで作ってください。**

たとえば、内容、語彙、長さを自分に合わせた教材が完成する。

これまで分担していた「先生」「辞書」「会話相手」「教材」が1つのAIに統合された状態と言えます。

2. 生成AIの限界と注意点

——生成AIとの上手な付き合い方

生成AIにも弱点があります。最大のものは、**事実誤認**、いわゆる**ハルシネーション**です。これは、もっともらしいうそを含んだ文章を生成してしまう現象です。

例えば、「ナポレオンは18世紀にアメリカ合衆国の初代大統領だった」というような誤情報を、それらしく語ってしまうことがあります。**事実確認が必須**です。

ただ、文法や語彙の使用、会話例など、**言語そのものに関しては非常に正確**であり、英語学習における多くの用途では問題になりません。

注意点というか、上手な使いこなし方の第2点として、生成AIの出力結果は、**最初から完璧ではありません**。例えば「100語で説明してください」と指示しても、80語だったり120語だったりします。こうした場合も、「少し短くしてください」「80語以内にしてください」と再度指示すれば柔軟に対応してくれます。**対話を重ねながら完成に近づけていく**、という発想が重要です。



3. プロンプトの工夫が成否を分ける

生成AIを使いこなすための鍵は、指示文、すなわち**プロンプトの書き方**です。以下にポイントをまとめます。

プロンプトの書き方のポイント

1. 指示は短く、1つずつ順を追って伝える

🔴 **比較級のルールを中学生向けに説明してください。**

⇒🔴 **今の説明に例文を3つ追加してください。**

⇒🔴 **その内容に基づく4択問題を2問作ってください。**